(快)辰 東京都改谷区改合3-8-10 JS改合ビル5F tel/03-3480-1570 fa/03-3486-1450

今月のトーク/monthly talk

「エストラルゴ都立大学」 撮影:アック東京

年頭のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新たな年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行され、コロナ禍前の日常が戻りつつあり、スポーツ大会にも多くの方が球場やスタジアムに足を運んだのではないでしょうか。特に野球界においては、WBC 優勝・大谷翔平選手の大活躍・阪神タイガース 38 年振り日本一など大盛況でありました。また、昨年より弊社がクラブパートナー契約させていただいた日本プロサッカーチーム「FC 町田ゼルビア」が J 2 優勝・J 1 昇格を果たしたことは大変喜ばしいニュースであり、今年も共闘させていただく所存です。

経済状況はと言うと、景気を押し上げてきたコロナ禍明けの需要回復はほぼ一巡し、緩やかな回復が進んでいます。しかし、下振れ要因である物価高は変わらぬ状況です。今後の建設業界の需要はしばらく旺盛であると言われていますが、物価高による建設コストの増加、慢性的な人手不足、それに伴う受注競争の激化、働き方改革など課題は山積みです。近年では DX やロボットなどの活用も進んできましたが、建設業界そして携わる全ての企業にとって、「生産性の向上」が最重要課題であることは間違いありません。

今年の 10 月、弊社は創業 25 周年を迎えます。これまでの道のりは決して平坦ではありませんでしたが、全てのお客様、建築家の先生方をはじめ、何より社員の頑張りとご家族の支えがあってこその今日があります。これからも「辰に頼んで良かった」と思っていただけるよう「こだわり建築の追求」をして参ります。皆様、今後とも何卒変わらぬご愛顧賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

2024年(辰年) 元旦 株式会社辰 代表取締役 岩本 健寿

エストラルゴ都立大学

建物全景。路地状敷地ながらも開放感と抜け感がある

前面道路側より。奥地に繋がる狭い間口



2 階貸室





多目的なフリースペース



ロフトへの階段は家具収納になっている

今の充実と未来への展望が共生する「居場所」

東急電鉄東横線「都立大学」駅から大通りを超え、閑静な住宅街に整然と 並ぶ桜並木道を抜けた先にある路地状敷地に位置した「エストラルゴ都立 大学」。道路から見通せない奥まった敷地では、一般的に画一感や陽当り不 足の印象を与える建物計画となることも多いが、そういった類似性を払拭 しつつ、集合住宅(長屋)の新しい考え方ができるような建物計画をおこなっ

長屋といえば等間隔やシンメトリーに設置された窓、建築面積いっぱいの 閉塞感を感じる低層、狭い通路計画などが想像されるだろう。「エストラル ゴ都立大学」は、アプローチの法規上必要な避難通路幅 2m に少しのゆと りスペースを足し、さらに住戸玄関前も広めにスペースをつくることで、 閉塞感と行き止まり感を軽減し、空間の抜け感と開放感を演出。敷地の奥 行き部分を敢えてプライベートスペースとして利用できるように意図した。 擁壁は日本人に馴染みのある大谷石を採用し、外壁の浮造り杉板と床の石 畳風タイルとの調和が、近代的ななかにもどこか日本らしさを生み出して

> いる。また窓位置もばらすことで、より単調な長屋のイメージ を緩和させ、全体の構成コンセプトに納まるように工夫した。

客層テーマは「落ち着きのある暮らし」。閑静な住宅街でファ ミリー層も多いことから、1LDKの間取りにプラスして、テレ ワークやプライベートのための「住居内ソロ」を実現できるフ リースペースを設けた。また、永住の賃貸マンションではなく、 いずれマイホームなどを検討する準備期間としての利用も想定 し計画をおこなったため、そういったスペースはある意味未来 の住環境の変化への「肩慣らし」としては申し分ないだろう。

駅を降りて四季折々の桜並木道を通りながら、どこか懐かしさ も感じる住まい。そこから新しい家族と新しい住空間を求めて 旅立っていく。暮らす人のストーリーを想像しながら計画をお こなった「エストラルゴ都立大学」は、いつの時代もそういっ た今を充実しつつ、未来も見つけられる「居場所」として、願 わくば「この建物に住んでよかった」と思ってもらえる存在に なって欲しい。

前回の「エストラルゴ渋谷」に続き、私の想いと事業主の願い を具現化してくれる辰さんには毎回ながら大変感謝している。 設計者、事業主の「こだわり」を受け入れ、全力で実現してく れる建設会社は大変貴重で、これからの時代も必ず必要となる 存在だと再度強く思った。

(ハル・アーキテクツー級建築士事務所/竹内巌氏 談)



メゾネットタイプの貸室

所在地:東京都目黒区八雲 1-6 構造: RC 造

規模:地上3階 用途:長屋

事業主:㈱東悠エステート 設計・監理:竹内巌/ハル・アー キテクツー級建築士事務所

竣工: 2023年9月 施工担当:能田・鍋島

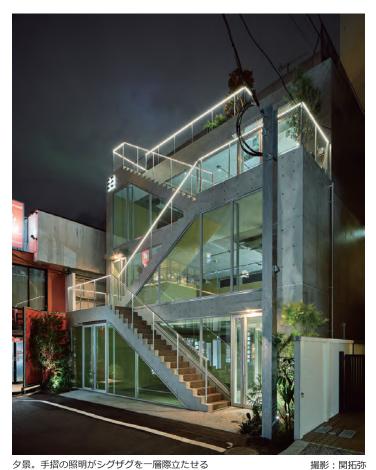
(池上チーム) 撮影:アック東京



ZYGZAG



ファサード 撮影:関拓弥



夕景。手摺の照明がシグザグを一層際立たせる



溶解亜鉛メッキの上にリン酸処理を施した



館銘板

新たな流れを生む

東京、北青山の3階建て店舗の計画である。この場所は表通りから 一本入った高層ビルの裏の通りに面し、少し暗い印象であった。 元々、ここにクライアントの会社の建物があったことから、クライ アントは子供の頃にこの辺りで遊んで親しみがあり、ここに新しい 建築を建てて、この通り自体を活性化させるきっかけにしたいとい う思いを抱いていた。

まず、明るく開放感を持たせるために、ファサードの開口部をでき るだけ大きくとりたいというクライアントの要望があった。通常は 店舗部と階段を別にするが、外部階段をファサードと一体とするこ とで、開口部が大きく、特徴のあるデザインをつくりだした。 階段が道路から屋上まで続いていくことで、街の中に小高い丘をつ くったような、街と連続していく地形のような建築となるのではな いかと考えた。

L字の道路の角にあるため、階段を昇り降りする様子は街の少し離 れた場所からも、また内部からも目に入り、2階、3階の店舗にも 路面の店舗のように街からそのままアクセスできる。そして、階段 を上ると、一気に目の前の眺めが開けて気持ちのいい景色が広がる。 屋上には街の緑と連続するように植栽が設置され、来訪者は景色を 楽しみながらベンチで休憩することができる。

構造は RC 壁構造でボイドスラブとすることで、店舗内は梁や柱が なく、スケルトンのままでも使える天井高の高い空間を実現した。 ファサードの手摺には照明が設置され、日が落ちると点灯し、 ZYGZAG(ジグザグ)のラインを際立たせつつ、ワイヤーメッシュ に穏やかな光を映し、この場に明るさを演出する。ZYGZAG のロゴ はファサードをモチーフとし、ファサードの左上に設置されたサイ ンは目を引きつつも、全体を引き締めて、まとまったデザインとし

中に入る店舗も来年春にはオープン予定だ。これからこの建築に沢 山の人々が訪れ、この通りに新たな流れを生み、どのように変わっ ていくのかが楽しみである。

(田邊曜建築設計事務所 /田邊曜氏 談)



ワイヤーメッシュが 張られた手摺



屋上テラスで緑と空を満喫

構造: RC 造 規模:地上3階 用途: テナントビル 事業主:サンピア株式会社

設計監理:田邊曜建築設計事務所 設計協力:渡邉真弓建築設計事務所

構造:構造計画プラス・ワン

設備:Y.M.O.

照明デザイン:岡安泉照明設計事務所

ロゴデザイン:野老朝雄 サインデザイン:四方謙-

植栽:SOLSO

植栽デザイン協力:濱みやび

竣工: 2023年10月

施工担当:齋藤(池上チーム) 撮影:関拓弥 アック東京

TOPICS/INFORMATION

NAH・GLH 外壁改修工事記録 - 引き継がれた歴史を新しい未来にむけて -

2023 年秋、SHINCLUB158 号でご紹介の「GLH (odex glass house II)」の建て主森様から、改修工事のご相談をいただき、施工させていただきました。

およそ 30 年前。ご自宅の近くに売りに出された物件が気になり建物内を内見された森様。漂う空気感と言葉では言い表せられない凛とした雰囲気に一目惚れし、建物をご購入。その後、自身の会社「odex japan」の事務所として使用していました。そんなある日、とある学生が「建物を見学させて欲しい」と訪れたことをきっかけに、その建物が、建築家鈴木恂氏(早稲田大学名誉教授)の作品「NAH」だと知ったそうです。すでに竣工してからかなりの年月を経ていたため、2007 年に弊社で大規模改修工事を施工させていただきました。

その後、NAHの隣地をご購入され、2013年に木造である「GLH (odex glass house II)」を建築。1階はアトリエスペースとして、2階は森様の「哲学の間」として座禅や瞑想など、自然と一体になれる自由な空間として設計されました。

それからおよそ10年後の今年。経年劣化によって朽ちたNAH・GLHの外壁やウッドデッキの再生工事をおこない、見事新築時のような美しい姿に生まれ変わりました。

朽ちた破風の補修や塗膜、褪せてしまったウッドデッキや木造外壁の塗装など、 工事期間はおよそ3週間。

受け継いだ歴史と新たに重ねる歴史を紡いで、これからも永く愛される建物であることを願っております。



NAH 全景



破風も朽ちて面がボロボロに



劣化した塗膜もケレンし新たに塗装



腐食部分も補修





色褪せたウッドデッキ



建物環境で劣化にムラが目立つ



木の深みが増したウッドデッキ

[NAH 6601]

構造:RC 造一部木造

規模:地上2階

用途:専用住宅(現在は事務所)

設計:鈴木恂/鈴木恂建築研究所 構造設計:塚越勇

構造設計: 塚越男 施工:中島・竹村工務店

施工:中島・竹村工務/ 竣工:1967年1月

[GLH1209]

構造:木造

規模:地上2階

用途:アトリエ

設計:鈴木恂 + 内木博喜/ AMS

architects

構造設計:小川勝利 施工担当:讃井 竣工:2013年4月

「O 邸」新築工事 地鎮祭

2023年12月5日

緑豊かな住宅街に中庭を設けた外断 熱の住宅を1年かけて建築します。

構造 / 規模: RC造 / 地下1階・地上2階

用途:専用住宅

設計:ジェネラルデザイン 施工担当:郷・山崎(郷チーム)

完成予定:2025年1月

「(仮称) UTB2」新築工事 上棟式



2023年12月8日

六本木の路地裏にまるで秘密基地の ような建物を施工中です。最後まで 安全第一で努めてまいります。

構造/規模: RC造/地下1階・地上3階

用途:飲食店・事務所

設計:㈱アコースティックエンジニアリン

グ、㈱エー・プロジェクト 施工担当:井田(谷田チーム)

施工担当:开田(谷田ナーZ 完成予定:2023年12月

編集後記

・あけましておめでとうございます。今年も一棟一棟竣工しました建物を丁寧にご紹介してまいります。 本年も宜しくお願い申し上げます。

(株) 辰 通信 Vol.286 発行日 2024年 1月 10日編集人:本間夏来/村上由衣/土屋祐一郎 発行人:岩本健寿〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-8-10 JS 渋谷ビル5F TEL:03-3486-1570 FAX:03-3486-1450 E-mail:daihyo@esna.co.jp URL:http://www/esna.co.jp



建築屋

「SHIN CLUB」は WEB 上でもご覧 いただけます。

バックナンバーも PDF で掲載してい ます。

スマホはこちらから

